

## 4. 入学試験

入学試験は、一般入学試験、社会人入学試験、外国人入学試験の3つに区分して実施します。専攻ごとの詳細は下記をご確認ください。

### 【入学試験に関する注意事項】

1. 試験当日は、**試験開始 15 分前**までに試験場および口頭試問控室に集合してください。
2. **原則として遅刻者の受験は認めません**。ただし、当日の最初の筆記試験科目に限り、試験開始後 30 分以内の遅刻入室を認めます。
3. **試験場には時計の設備がありませんので、各自時計を持参してください。なお、時計は時間を計る機能のみのものとし、スマートウォッチなどの腕時計型端末の使用は認めません**。
4. 試験時間中の辞書等の使用は認めません。
5. 感染症対策のため、試験当日は検温等の対応をお願いする予定です。詳細は試験当日の一週間前までに  
出願 Web 出願システムに入力されたメールアドレス宛に配信します。

### 1) 心理学専攻の入学試験について

入学者の選考は、各区分とも筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価して行います。

#### 試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割

試験期日	科目・時間 注(1)		試験場 (新座キャンパス)
2022 年 10 月 16 日 (日)	9:30~10:30 心理学	11:10~12:10 英語 注(2)	3 号館 1 階 N311 教室
	14:00~ 口頭試問 注(3)		3 号館 1 階 N311 教室 (控室)

注(1) 筆記試験および口頭試問は日本語で行います。ただし、「英語」の解答については問題の指示に従ってください。

注(2) 英語資格・検定試験のスコア・級に関する証明書を出願時に提出することで、「英語」筆記試験に代えることができます。また、証明書を提出したうえで「英語」筆記試験も受験すること、および種類の異なる英語資格・検定試験の証明書を複数提出することも可とし、いずれの場合も評価点の最も高いものに基づいて選考を行います。英語資格・検定試験のスコア・級に関する証明書の提出有無は、Web 出願システムの所定の入力欄にて申告してください。また、英語試験・検定試験のスコア・級に関する証明書を提出する場合は、筆記試験の希望の有無を記載したメモ(書式自由)を証明書と一緒に提出してください。提出できる英語資格・検定試験のスコア・級は以下のとおりです。ただし、提出できるスコア・級は入学試験実施月から過去2年以内の試験で取得したものに限定します。

- ・ 実用英語技能検定(英検) 2級以上(英語 4 技能に限る)
- ・ GTEC CBT
- ・ IELTS
- ・ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)
- ・ TOEFL iBT
- ・ TOEIC L&R および TOEIC S&W (両方のスコアを提出すること)
- ・ Cambridge English (ケンブリッジ英検)

注(3) 試験当日の受験状況により、開始時刻が若干前後することがあります。

## 2) 臨床心理学専攻の入学試験について

入学者の選考は、各区分とも第1次試験として筆記試験ならびに口頭試問(集団)、第2次試験として口頭試問(個別)に分けて行います。

### 試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割

	試験期日	科目・時間 注(1)			試験場 (新座キャンパス)
第1次試験 注(2)	2022年 10月9日(日)	9:30~ 10:30 英語	11:10~ 12:10 心理学 および 臨床心理学	15:30~ 口頭試問(集団) 注(4)	1号館2階 N121教室  【口頭試問控室】 1号館2階 N121教室
第2次試験 注(3)	2022年 10月16日(日)	14:00~ 口頭試問(個別) 注(4)(5)			zoomによる オンライン形式

注(1) 筆記試験および口頭試問は日本語で行います。ただし、「英語」の解答については問題の指示に従ってください。

注(2) 口頭試問(集団)対象者は、筆記試験の結果により選抜します。口頭試問(集団)の対象者は、同日15:00に新座キャンパス7号館前にて受験番号を掲示して発表します。

注(3) 第2次試験の対象者は、第1次試験の結果により選抜します。第2次試験の対象者は、10月10日(月)までに下記URLにて受験番号を掲示して発表します。

[https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/results/cp\\_g.html](https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/results/cp_g.html)

注(4) 試験当日の受験状況により、開始時刻が若干前後することがあります。

注(5) 第2次試験の対象者には10月12日(水)~10月14日(金)でzoomの接続テストを実施します。第2次試験当日および接続テストの案内は10月10日(月)に第2次試験の対象者にメールでお知らせします。

### 3) 映像身体学専攻の入学試験について

入学者の選考は、筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価して行います。なお、〈制作系〉を選択した志願者については、制作物、筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価します。

#### 《重要》 出願から「修士論文（修了制作含む）」作成に至るまでの「系統選択」について

映像身体学専攻博士課程前期課程の志願者は、出願時に〈論文系 / 制作系〉のいずれかを選択してください。試験科目のうち『専門科目』は、出願時における〈論文系〉又は〈制作系〉の選択によって詳細が異なります。

〈論文系〉： 修士論文として「論文執筆」を行う者は、〈論文系〉を選択してください。  
〈制作系〉： 修士論文として「作品制作」を行う者は、〈制作系〉を選択してください。

#### （趣旨）

出願時に〈論文系 / 制作系〉のいずれかを選択することは、映像身体学専攻が入学時から「修士論文（修了制作含む）」に向けた指導を丁寧に行うことをねらいとしています。入学後は、この選択に基づき研究指導を受け、「修士論文（修了制作含む）」を作成するものとします。そのため、出願時に選択する〈論文系 / 制作系〉の選択内容について、出願後及び入学後の変更を認めません。また、研究計画について出願時に十分な検討を求める意図から「未定」とすることも認めません。出願時に〈論文系 / 制作系〉のいずれかを必ず選択してください。

『研究計画について出願時に十分な検討を求める』ことに関連して、研究計画書も評価の対象としますが、映像身体学専攻としては、あなたが先行研究・先行作品を調査・検討した内容や、入学後の2年間で「修士論文（修了制作含む）」を仕上げられることがうかがえるような、研究計画の実現可能性などについても「研究計画書」に言及してほしいと考えています。

なお、映像身体学専攻が開講する科目は〈論文系 / 制作系〉によらず展開されるため、この選択によって履修する科目が制限されることはありません。

また、各教員の専攻領域および〈論文系 / 制作系〉の指導領域は下記のとおりですので、指導希望教員選択の参考にしてください。

教員名	専攻領域	論文系／制作系
大山 載吉	映像身体学、哲学	論文
加藤 千恵	古代中国の身体観・宇宙観・生命観、道教思想史	論文
篠崎 誠	映画全般	制作
田崎 英明	身体社会論、ジェンダー/セクシュアリティ理論、身体政治論	論文
松田 正隆	戯曲・シナリオ創作、演劇・パフォーマンスの研究	制作
江川 隆男	西洋近現代哲学、現代思想、精神と身体の哲学、身体倫理論	論文
日高 優	映像身体学、写真研究、絵画等の視覚芸術研究	論文
横山 太郎	日本の身体思想・身体文化、演劇	論文
滝浪 佑紀	映像身体学、映画メディア論	論文

## 1. 制作物 <制作系>を選択した志願者のみ提出

「卒業制作（映像身体学にかかわるDVD、MD等）またはこれに準ずるもの」のコピー3部を出願の際に提出してください。詳細は「出願書類」（10頁）および「制作物について」（11頁）を参照してください。

## 2. 試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割

試験期日	科目・時間 注（1）		試験場 （新座キャンパス）
2022年 10月16日（日）	9:30～10:30 英語	11:10～12:40 専門科目 注（2）	4号館2階 N421教室
	15:00～ 口頭試問 注（3）		4号館2階 N421教室 （控室）

注（1）筆記試験および口頭試問は日本語で行います。ただし、「英語」の解答については問題の指示に従ってください。

注（2）「専門科目」は、出願時に選択した < 論文系 / 制作系 > により詳細が異なります。

< 論文系 > を選択した者は、次の指示にしたがってください。

試験日に『論述試験』を受験することにより「専門科目（論述試験）」を受験したこととします。試験当日は「英語」「専門科目（論述試験）」及び「口頭試問」の3科目を受験してください。出願時に『制作物』を提出しないでください。なお、「専門科目（論述試験）」では、映像と身体（あるいは二つの連関）の本質について各自の思考・見解を論述することが求められます。

< 制作系 > を選択した者は、次の指示にしたがってください。

出願時に『制作物』を提出することにより「専門科目（制作物審査）」を受験したこととします。試験当日は「英語」及び「口頭試問」の2科目を受験してください。試験当日に『論述試験』を受験しないでください。なお、「専門科目（制作物審査）」では、映像身体学専攻の修士論文として制作を行う資質について見ることを目的としています。

注（3）試験当日の受験状況により、開始時刻が若干前後することがあります。